

千葉県介護福祉士会 会報 にじ

2026.6.10

第136号



一般社団法人 千葉県介護福祉士会 令和8年度通常総会

令和8年5月24日(日)千葉県社会福祉センターにて

総正会員数 583名

出席会員数 292名(出席会員 47名 委任状 245名)

定款第22条規定の総正会員の2分の1を超える出席者があったので総会は成立しました。

◆第1号議案 令和7年度事業報告・第2号議案 令和7年度収支決算報告については、高橋事務局長より会員数の減、研修の参加者減(やっと開催できる人数)のため、赤字を出してしまう研修もあった(参加費・会場費・講師料等)ことから、令和7年は赤字決算となったこと、それに伴って研修費の検討が課題となっていることが説明されました。

第1号議案、第2号議案共に質問なく、賛成多数にて可決・承認されました。

◆第3号議案 令和8年度事業計画(案)・第4号議案 令和8年度予算(案)については、行政の提言(介護人材の確保)に対しての取り組み方や会員を増やすための具体的な対応についての質問があり、八須会長より会員の母数を増やすため人材確保事業補助金を利用していること、行政の会議等で人材不足についての発信をしていること、会員への情報発信の仕方の検討について回答がありました。また、会員数が減ったのは、長い間の課題であり、もう少し違ったアクションを起こした方が良いのではないかとのご意見をいただきました。

第3号議案、第4号議案共に賛成多数にて可決・承認されました。



第5号議案 役員の改選(案)については、質問なく、賛成多数にて可決・承認されました。(次頁にて紹介)

🌸 永年継続会員表彰式 🌸

伊藤 文江会員・渡名 一恵会員

石井 みちよ会員・平山 幸江会員

田代 一男会員・南 静代会員

佐々木 奈美会員・近藤 郁子会員

金川 恵美子会員



令和 8 年度 新体制

第 5 号議案で承認された新規役員です。

新しくなった組織を紹介します。

執 行 部		
会 長	八須 祐一郎	
副 会 長	佐藤 武秀	
副 会 長	曾我 敦子	
副 会 長	岩崎 則子	
事 務 局 長	櫻井 綾恵	

委 員 会	
総 務 委 員 長	椎名 淳一
啓 発 ・ 相 談 委 員 長	野澤 和代
青 年 部 運 営 委 員 長	佐藤 悠
事 業 委 員 長	松川 典代
受 験 対 策 委 員 長	小笠原 一志
研 修 委 員 長	小川 千晴
キャリアアップ° 支援委員長	箱田 純子
キャリアアップ° 支援委員長	加藤 幸夫
キャリアアップ° 支援委員長	小林 陽香
広 報 委 員 長	井澤 知之

ブ ロ ッ ク	
東 葛 ブ ロ ッ ク 長	川平 健太
千 葉 ・ 内 房 ブ ロ ッ ク 長	橋本 享子
北 総 ブ ロ ッ ク 長	宇崎 武徳
東 総 ・ 外 房 ブ ロ ッ ク 長	佐藤 悠

監 事	
北 総 ブ ロ ッ ク	野口 渉子
東 葛 ブ ロ ッ ク	南 静代

任期は2年です。

皆さまよろしくお願いします。

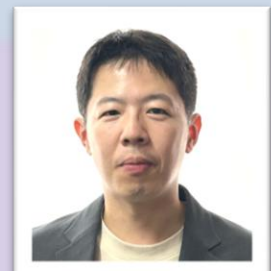
よろしくお願いします



🌻 新規役員紹介 🌻 (50音順)



井澤 知之
(広報委員長)



宇崎 武徳
(北総ブロック長)



小川 千晴
(研修委員長)



川平 健太
(東葛ブロック長)



佐藤 悠
(青年部/
東総・外房ブロック長)



野澤 和代
(啓発・相談委員長)

『職員の働きがいを引き出す』～キャリアデザインの仕組みづくり～



未来をつくる kaigo カフェ 代表 高瀬 比左子氏

特定非営利活動法人未来をつくる kaigo カフェ代表

介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員

大学卒業後介護現場に従事し、現場職員の声を活かす対話の場づくりの必要性を感じて、2012年に「未来をつくる kaigo カフェ」を設立。全国で5万人以上が参加するネットワークに成長し、介護職の学びあいと多職種連携を促進している。

「仕事は嫌いじゃない。でもしんどい。」「やめたいわけじゃないけど続け方がわからない。」そんな気持ちを抱えている方もきっといると思います。

頑張り方ではなく、続け方を一緒に考えたい。

やりながら悩みながら前に進める方法を一緒に探していけたらと思います。

カフェの理念は、介護にかかわる一人ひとりが自分らしさを発揮し、生き活きと生きる社会の実現。肩書や役職を外して対話をするということを大切にしています。

一番大切なのは、経営者の方も管理職の方も「鎧を外す」ということです。フラットに会話をする、そういったルールを作ることで、大切な気づきを得たり、実際のアクションに繋がる人が多いと思っています。

職員の一人一人の成長と安心を両立させる仕組みづくり

- ・スキルアップ

- ・ワークライフバランス

- ・多様な働き方

これらが絡み合うことで、職員の定着が向上し、結果としてケアの質も高まっていきます。

◆スキルアップの仕組みづくり

必要なのが成長の「見える化」です。例えば、新人ならまずこの3つ。リーダーならこの3つ。という必須のスキルを簡単に整理するだけでも、教える側・教わる側の共通言語ができます。もう一つ大切なのが1on1のような、短い対話の時間です。ここで重要なのは、長時間の面談ではなく最近できるようになったことは何か、今どこで困っているかを言葉にできることです。たった10分でも上司やリーダーが関心を向けてくれていると感じられると、職員の安心感は大きく変わります。

◆ワークライフバランスの実現

介護の仕事は身体的な負担だけではなく、感情面の負担も非常に大きい仕事です。だから職員が回復できる時間を持てるかどうか、働き続けられるかどうかに関がります。例えば記録の二重入力、目的があいまいな会議、申し送りの重複、担当者しかわからない仕事。こうした小さな非効率率が積み重なると、職員の疲労感は大きくなります。逆に言うと、そこを少し整えるだけでも現場の息苦しさはかなり変わります。

◆多様な働き方の需要と活用

介護現場では今、フルタイムで夜勤もできる人だけを前提に人材を探すことが難しくなっています。一方で、フルシフトでは働けなくても経験や意欲のある人材はたくさんいます。そうした方に、どうすれば働きやすくすることができるのか考えることが大切です。

多様な働き方を認めることは、採用のためだけではありません。今いる職員が結婚や育児、介護や自身の体調変化などを経ても辞めずに働き続けられる職場にするという意味があります。

うまくいかない日があったり、思うように人が育たなかったり、何とか回しているだけで精いっぱいだと感じる日もきっと少なくないと思います。それでも皆さんは毎日現場を支えて、職員を支えて、利用者の暮らしを支えています。そのこと自体がとても大きなことです。だから一人で背負い込まないでほしい。困りごとを言葉にして、仲間と共有して小さな一歩を試してみること。その一歩が職員の働きがいを生み、職場の空気を少しずつ変えていきます。皆様自身が元気を失ってしまったり、良い支援も良い組織づくりもできません。どうかご自身の疲れにも気づいてください。休むことや頼ること、周囲に相談することを忘れないでください。

これ、知っとく得？



今回は『口腔ケアの重要性と健康被害予防』。

高齢者介護において、口腔ケアは単なる清潔保持にとどまらず、全身の健康を支える重要なケアの一つです。しかし現場では、時間的制約や利用者の拒否などにより十分に実施できていないケースも見受けられます。口腔ケアの重要性と、不十分な場合に生じる健康被害について整理しましょう。

◎介護現場における実践の意義

◆口腔ケアの重要性

口腔内は細菌が繁殖しやすい環境であり、適切なケアを行わない場合、細菌が増殖し全身に影響を及ぼします。特に高齢者では免疫力の低下により、その影響が顕著になります。

口腔ケアの主な意義は以下の通りです。

※誤嚥性肺炎の予防

※食事機能（咀嚼・嚥下）の維持

※口臭の軽減と社会的 QOL の向上

※感染症予防

※認知機能低下の予防への寄与

特に誤嚥性肺炎は高齢者の死亡原因の上位を占めており、口腔内の清潔保持が予防のカギとなります。

◆不十分な口腔ケアによる健康被害

口腔ケアが適切に行われない場合、以下のような健康被害が生じる可能性があります。

1. 誤嚥性肺炎のリスク増加

口腔内細菌が唾液や食物とともに気道へ入り、肺炎を引き起こします。

2. 口腔機能の低下

歯周病や口腔乾燥により、咀嚼・嚥下機能が低下し、低栄養に繋がります。

3. 全身疾患への影響

歯周病菌は血液を通じて全身に影響し、心疾患や糖尿病の悪化に関与することが知られています。

4. 生活の質（QOL）の低下

口臭や不快感は、対人関係や心理面にも悪影響を及ぼします。

◆介護現場での実践ポイント

介護福祉士として、口腔ケアを効果的に行うためには以下の視点が重要です。

※利用者の状態（認知症、嚥下機能）に応じたケア方法の選択

※無理強いせず、安心感を与える声掛け

※スポンジブラシや保湿剤の活用

※多職種（歯科医師・歯科衛生士）との連携

※ケアの継続と習慣化

特に拒否のある利用者には、信頼関係の構築と段階的なアプローチが不可欠です。

◆おわりに

口腔ケアは「見えにくいケア」でありながら、利用者の生命と生活の質に直結する重要な支援です。日々のケアの中でその意義を再認識し、丁寧な実践を積み重ねることが求められます。

介護福祉士一人ひとりのかわりが、利用者の健康を守る大きな力となることを改めて意識したいものです。

会員の「自分は頑張ってる」！



～今の認知症ケアを考える・伝える～

🌻 川平 健太氏 🌻

東葛ブロック長（令和 8 年度より新任）

社会福祉法人 松栄会特別養護老人ホーム ひまわりの丘

私が「頑張っている」というより、取り組んでいることをふたつご紹介したいと思います。

まずひとつ目は、昨年末に取得した「シナプソロジーインストラクター」を活かした体操教室を、介護予防の短時間デイサービスで1回30分実施しています。

※シナプソロジーとは？

シナプソロジーの最大の特徴：「脳の混乱」が正解。

従来の脳トレは「正しくできること」を目指しますが、シナプソロジーは「できなくて困っている（脳が混乱している状態）のことが、最も脳を刺激していると考えます。そのため、うまくできなくても全く問題ありません。むしろ、できない時に思わず笑ってしまうことが、脳の活性化にさらに良い影響を与えます。

みんなで、間違っても笑い飛ばしながら楽しく体操に取り組める！

楽しいからこそ続けられる、続けることがこころとからだの活性化につながる！

そんな明るく楽しい体操教室に取り組んでいます。



もうひとつは、「RUN 伴まつど」の実行委員活動です。

私は一昨年から「RUN 伴まつど」の実行委員として活動しています。

※RUN 伴とは？

一般社団法人「認知症フレンドリージャパン・ネットワーク（DFJN）」が企画・主催し、2011年に北海道で始まりしました。現在では、日本全国の都道府県、さらには海外（台湾など）へも広がりを見せています。

「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」を目指し、地域住民が認知症への理解を深め、つながりを持つきっかけ作りの場となっています。

福祉にかかわる様々な職種が11月の開催に向けて毎月集まり、企画・運営を思案します。

昨年より多くの方にご協力・ご支援いただくために福祉職の懇親会も開いており、今回はボランティアスタッフ40名、イベント参加動員約300名の規模になりました！

より多くの方に正しい認知症の理解をしていただけるように取り組んでまいります。

どちらの取り組みも介護福祉士にとって大切な「伝える」ことです。日常から丁寧に伝えることを意識し、一步步成長していきたいと思っています。



事務局だより

平素より本会の運営に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、新事務局長に就任いたしました。また、事務局員も長年貢献された宇津木・谷苗に代わり、新たに竹中・菅原・金丸の新体制が始動いたしました。

前任者の想いを継承しつつ、職能団体として会員の皆さまのより良い活動を全力でサポートしてまいります。新体制となった事務局を、これからもどうぞよろしくお願いいたします。
(櫻井)

一般社団法人

千葉県介護福祉士会

〒260-0026

千葉市中央区千葉港4-5

千葉県社会福祉センター5 階

TEL 043-248-1451

FAX 043-248-1515

E-MAIL: kai5niji@poem.ocn.ne.jp



千葉県介護福祉士会 HP

<http://care-net.biz/12/kai5chiba/>



千葉県介護福祉士会 Facebook



※事務所の電話受付は平日の
9~16 時となっております。
時間外及び土・日・祝日に開催される
研修会等のお問い合わせについては、
留守番電話にて対応しております。

2026 年5月24日現在の会員数579名

東葛ブロック	140名
千葉・内房ブロック	181名
北総ブロック	176名
東総・外房ブロック	82名

賛助団体(7団体)※敬称省略

※承諾を得て団体名を掲載しております。

・社会福祉法人 翠耀会

特別養護老人ホーム グリーンヒル

・東洋羽毛 北関東販売 株式会社

・社会福祉法人 九十九里ホーム

障害者支援施設 聖マーガレットホーム

・社会福祉法人 広寿会

特別養護老人ホーム いすみ苑

・社会福祉法人 オリーブの樹 オリーブハウス

・医療法人社団 一心会

初富保健病院

初富保健病院介護医療院

・株式会社 日本トリム千葉営業所

いつも本会運営についてご理解とご協力をいただき心より
感謝申し上げます。